

2013年10月10日

サービス付き高齢者向け住宅、医療・福祉施設向け商品に新仕様追加

## EXIMA31 引違い窓 (3枚建) 発売

3枚建では業界初\*の複層ガラス仕様で、単板仕様に比べて断熱性能が約60%向上  
2枚建と比べて約20%アップした有効開口とフラット下枠が車椅子の安全な通行を実現

YKK AP株式会社(社長:堀 秀充、本社:東京都千代田区、資本金:100億円)は、集合住宅・中低層オフィス向け基幹商品「EXIMA31」の引違い窓(3枚建)に複層ガラスを採用した新仕様を追加し、10月10日より受注開始します。

「EXIMA31」引違い窓(3枚建)は、3枚の障子がゆとりある開放感を演出する商品です。また、大開口により車椅子などの通行性への配慮に加え、3枚建では業界初\*となる複層ガラス仕様を設定したことで、断熱性能の向上などの新しい付加価値を実現します。サービス付き高齢者向け住宅、医療・福祉施設、教育施設などにおいても安全で快適な居住空間を提案します。

(※ビル用ウィンドウ商品として、3枚建に複層ガラスを設定することは業界初となります。)

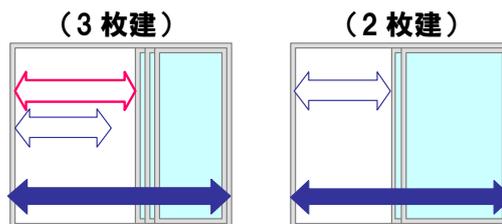
### ■「EXIMA31」引違い窓(3枚建) レールフラット下枠仕様 施工イメージ



#### [ 商品特長 ]

##### ●開放感ある空間演出

引違い窓(3枚建)では、最大W=3,600mmまでのワイドスパンの開口にも対応でき、眺望性を確保し開放感ある空間を実現します。また、全開時の有効開口は引違い窓(2枚建)と比べて20%ほどアップすることから室内空間と室外空間がつながり、開放感あふれる快適な空間を感じていただけます。

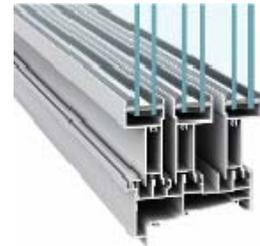


同じ開口幅でも、3枚建の方がより大きな有効開口を確保することから、車椅子の通行にも適しています。

●省エネへの配慮

省エネ意識が高まる中、ビル用ウィンドウ商品としては業界で初めて3枚建に複層ガラス仕様を設定しました。複層ガラスの採用により断熱性能は従来商品比 約60%アップ。断熱等級H-2<sup>\*</sup>を実現しました。

(※ 空気層12mm以上の複層ガラス使用時)



●通行時の安全性

大きな開口で通行しやすく、またフラットタイプの下枠（オプション仕様）により、出入りする際につまずくことのないよう配慮しました。車椅子でも安心して通行できます。



●サービス付き高齢者向け住宅、医療・福祉施設向け仕様も充実

大きなテラス窓や複層ガラスなどを使用した重量のある窓でも、およそ半分の力で操作できる「サポートハンドル」や、クレセントなど不特定多数の方が操作する部品には抗菌仕様もラインアップ。また、安全性を確保しながら自然の風を取り入れ、快適に過ごしていただける換気小窓（内倒し型）も設定しているので、あらゆる施設で安心して快適にお使いいただけます。（「空掛け防止クレセント」以外はオプション仕様）

区分	操作性への配慮	衛生面への配慮	安全性への配慮
仕様イメージ	 サポートハンドル      サポート引手	 抗菌仕様部品	 指はさみ防止用ストッパー
機能	窓の開け始めの際、サポート部品なしに比べおよそ半分の力で操作が可能に。	直接手で触れる操作部品表面での細菌の繁殖を抑え、清潔な状態を保ちます。	窓が開くと自動的にストッパーが作動し、閉めた時に枠と障子のクリアランスを確保。

区分	安全性への配慮	快適な室内環境	安全な性能・機能
仕様イメージ	 脱着ノブクレセント	 換気小窓〔内倒し型〕	 空掛け防止クレセント（標準設定）
機能	操作ノブが脱着式で、窓の開閉の誤操作を押し止めます。	安全性を確保しながら、ワンタッチでどなたにでも楽に操作が可能です。	窓が開いているとトリガーが下がらず、施錠動作が行えないため錠の掛け損じを防ぎます。

- [ 商品名 ] 「EXIMA31」 引違い窓 (3枚建)
- [ 基本性能 ] 耐風圧性 : S-5、S-6  
気密性 : A-4  
水密性 : W-5  
遮音性 : T-1、T-2<sup>※1</sup>  
断熱性 : H-1<sup>※2</sup>、H-2<sup>※3</sup>  
※1 : 単板ガラス 6mm以上、複層ガラス 6+A6+5mm以上を使用した場合  
※2 : 空気層 6mm以上の複層ガラスを使用した場合  
※3 : 空気層 12mm以上の複層ガラスを使用した場合
- [ ガラス溝幅 ] 14mm・35mm
- [ 参考本体価格 ] 引違い窓 (3枚建)  
レールフラット下枠仕様  
サイズ : 幅(W)2,700mm × 高さ(H)2,000mm  
96,900円  
(ガラス・消費税・組立施工費等は含みません)
- [ 発売地域 ] 全国
- [ 販売開始時期 ] 2013年10月10日
- [ 2014年度目標受注金額 ] 10億円



以 上

< お客様からのお問い合わせ先 >

YKK AP株式会社 お客様相談室  
一般のお客様 TEL : 0120-20-4134  
建築・設計関係者様 TEL : 0120-72-4134  
<http://www.ykkap.co.jp>

< 報道関係者からのお問い合わせ先 >

YKK AP株式会社  
広報室 長沼 史宏  
TEL : 03-3864-2321 FAX : 03-3864-2290  
E-mail : k\_ykkap@ykkap.co.jp